

JJAにしゅうわ 産地情報 Vol.1



平成22年産温州みかんの生長記録（芽吹き～満開）

本年は1月～3月は平年より気温が高く暖冬で、降水量は順調な降雨があったため樹勢回復が早く、柑橘類総体で平年に比べ落葉は少ない状況です。発芽は平年より6～10日早かったが、3月下旬以降の天候不順により満開までの期間は長く、満開は平年より1日遅い5/10であった。本年産は、裏年であるが花は予想以上に散見されるが園地によって若干の差がある。生産量予想は昨年対比99%温州47,200tの見込みとなっております。今後の天候によって状況は大きく変わっていきますが、全共選、全生産者一丸で芽管理を行い、数量確保を行ないながら、高品質果実生産を主旨とした、定期防除などを行っているところでです。

今後初夏にかけて、芽かき作業による着果率の向上させ、着果管理の中では葉面散布を行ない早期の緑化、成育促進、結実向上のための液肥散布を行ない、着花過多以外の樹は摘果時期も遅らしながら行ないます。着果不足年には、芽数が増え光合成量も多くなることで、炭水化物の蓄積が増加すると次年度の着花量が増えたり、隔年結果になる場合があるので6月中旬までに適度な施肥を実施し表年の生産調整を見据えております。

また、中晩相は伊予柑で若干ベタ花が見られますが、デコボンは有葉花主体で着蕾しており発芽量も多く、芽花バランス良好。中晩柑も温州同様に発芽は早かったものの満開までの期間は平年より2日程度遅れているが発芽量が多いので高品質果が生産でき安定生産の環境です。

芽吹き（3月）



満開（5月）



柑橘類の生育状況

	発芽日			開花開始日			満開日		
	22年	平年	平年差	22年	平年	平年差	22年	平年	平年差
温州	3/21	3/31	+10	5/4	5/2	-2	5/10	5/9	-1
南柑	3/29	4/2	+6	5/7	5/4	-3	5/12	5/11	-1
宮内いよかん	3/18	3/24	+6	5/3	4/29	-4	5/9	5/6	-3
清見	3/22	3/29	+7	5/8	5/4	-4	5/15	5/11	-4

芽かき管理を実施中!!

本年は発芽より開花日までの日数が長く、子房の充実が期待されますが、充実した花が少なかった場合や、開花期間の高温によって落花する危険性が高くなります。花が落ちやすい要因は①芽と花のバランス②温度による影響。

生産者は芽花管理を下記のポイントで行っていきます。

- ①優良な結果母枝確保
- ②芽かきによるバランスの調整
- ③液肥の葉面散布

着果の促進に向けた対策に努め、着果率の向上を目指します。



芽かき前のみかんの樹



芽かき作業後のみかんの樹



生産者への講習会



小さなみかん達を大切に秋まで育ていきます



平成22年度 西宇和温州みかん生産予想量

「平年並」

分類	品 種	生産予想数量(t)	前年比	前々年比
温 州	極早生	4,900	101%	95%
	密川早生	28,000	102%	100%
	南柑20号	11,400	96%	114%
	普通	2,900	86%	81%
みかん合計		47,200	99%	101%

上記は、現在の成り行き生産量です。（前年比、前々年比は最終の受入実績を基準に対比）現在の予想数量は前々年比を温州総体では若干上回っております。温州の隔年結果も少ないと見込まれています。現状は花も見えているので芽・花管理をしっかり夏まで行ない、高品質果実生産に向けた取り組みを行います。

西宇和のチョットいい話

佐田岬の沿岸部では「ちりめん漁」が盛んな時期を向えております。豊後水道から海流が流れ込むことでフランクトンが



JJAにしゅうわ